

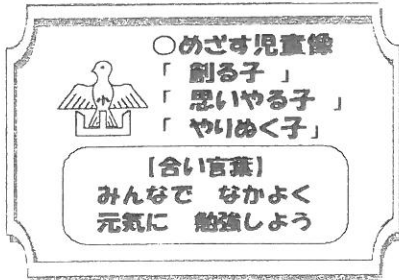


# いちよう

R1 校長室だより

第9号

令和元年9月2日  
足利市立山辺小学校  
学校長 福田 郁男



長い夏休みを終え、子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。今日から2学期が始まります。夏休み中、学校から離れて各家庭での生活に慣れ親しんだ子ども達の心身をできるだけ早く学校生活のリズムに切り換えられるよう、ご家庭のご協力をお願いします。

この2学期、1・2・3年生は遠足、4・5年生は宿泊学習、6年生は修学旅行、また、校内持久走大会や学校公開（祖父母参観を含む）、足利市の陸上記録会や学校音楽祭、よい子の学習発表会・作品展など、たくさんの行事が予定されています。引き続き、学校の教育活動に対しまして、ご支援・ご協力をよろしくをお願いします。

## ★★★★★ (9月2日:始業式の話) 「凡事徹底」をはかる ★★★★★

昔、松下電器（現在のパナソニック）という会社の創業者である松下幸之助という人がいました。（製品は電化製品の冷蔵庫、テレビ、エアコン、洗濯機、掃除機、炊飯器や乾電池などを作っています。）この松下幸之助が取引先の企業を訪問した時、販売高や利益額といった数字を見なくともその企業の経営がうまくいっているのかどうかを瞬時に見抜いたというエピソードがあります。松下氏の評価基準はいたってシンプルで、**一つは従業員の挨拶、二つ目は整理整頓、三つ目はトイレの掃除です。**この三つを見れば大体その会社の様子は判り、これらと会社経営とは不思議なくらい関連があるとのことでした。



学校も同じことが言えるのではないかと思います。**挨拶は「心を開いて相手に迫る」**つまりコミュニケーションの第一歩であり、挨拶ができないということは自らコミュニケーションの扉を閉じてしまうことになります。ごみが落ちているのを見つければ拾う、月遅れのカレンダーがあれば取る、要らないものは捨てる、必要なものはいつでも取り出せるようにしておく、その日のうちにやらなければならないものはやり遂げる、といった**当たり前**のことを**当たり前**にするということが何よりも大切です。しかも徹底的にやる。これを**凡事徹底**といいます。トイレについても汚れていれば人任せにせず、掃除すれば良い。挨拶を交わすことによって確実にコミュニケーションの輪は広がるし、掃除をすることによりすがすがしい気持ちになりますし、トイレを美しくすることにより心が磨かれます。そして快適な環境が創り出されていきます。この他にも、時間に遅れない、約束は守る、といった簡単なこと、当たり前のことをやり続けることが大切です。こういった簡単なことができない人には決して難しいことはできませんし、何事も徹底しないものです。中途半端になってしまいます。まずは毎日行っていることを一つずつ着実にしっかりとやり遂げ、積み上げていくと素晴らしい人になります。成長します。今日は**凡事徹底**のお話をしました。今日から始まる2学期、がんばりましょう。以上で終わりにします。

